



### 秋の訪れ

やっと秋の気配を感じることが出来るようになりました。空が高くなり吹く風もやさしく、太陽の光もやわらかいそんな秋です。当社では仕事のポイントとして、お掃除に入る前、終わった後に電話を掛けるよう指導しています。又訪問を欠かさないようにしています。このことを通して信用から信頼に変わり、スタッフの成長にも繋がっていると思います。昔の商い「御用聞き」の精神で「商いの原則」を忘れないようにデジタルとアナログを取り入れて、時代の変化を受け入れ経営に携わっていきます。

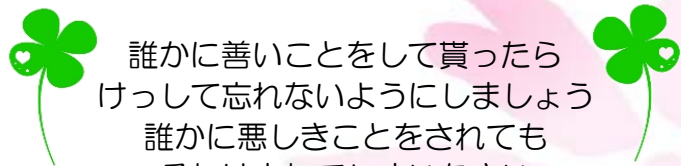


### 仕事には「5つの意味」がある

- ①働くことで「**出会いをいただく**」ということです。自分にとって厳しい仕事かもしれませんが、そのことをこなすことで、経験という出会いをいただくのです。
- ②「**社会に参加**」することができます。職場の上司、同僚のみならず、取引先の人など、さまざまな人たちとのつながりの中で仕事があることを知ります。
- ③「**学べる**」。会社に就職すればそこでは知らない事だらけです。一つ一つの経験は決して無駄な事ではありません。謙虚に学ぶことで人生は豊かになるのです。
- ④仕事を通じて知り合った人との間に「**信頼関係**」を築くことができます。仕事をするということは責任を引き受ける事です。それは信頼にもつながっていきます。
- ⑤仕事が「**自信**」につながります。自信をつけて他者に認めてもらうのではなく、日々、積み重ねた仕事の結果、自信につながるのです。「事に仕える」と書いて「仕事」。世間が私に何をしてくれているか？ではなく、私が世の中に対し、どう仕えるのか、私に出来ることを精進していきましょう。



### 幸せになる秘訣



誰かに善いことをして貰ったら  
けっして忘れないようにしましょう  
誰かに悪しきことをされても  
それは忘れてしまいなさい  
同様に、誰かに一度でも  
愛してもらったことは決して  
忘れないようにしましょう  
それはあなたの永遠の宝物なのです  
誰かを一度でも愛したことがあったら  
それを忘れておしまいなさい  
それが相手にあげたプレゼントなのです  
その愛はすでに相手のものであって  
あなたのものではありません  
有形のものでも無形のものでも  
貰ったものに感謝し、  
与えたものはさっぱりと手放すこと、  
それが幸せになる秘訣です

### 言葉のひげ

プレゼンテーションや人前で話す時、「えー」「あー」という言葉が頻繁に出てしまうと、伝えたい内容がうまく伝わらないことがあります。  
無意識に出てしまう、言葉は、「言葉のひげ」と呼ばれ、聞き手にとっては耳鳴りになることが少なくありません。  
ではどうすればこの「言葉のひげ」を減らせるのでしょうか。  
まずは、事前に万全な準備をすることです。  
たとえば、プレゼンテーションでは原稿を作成し、話の内容をしっかりと覚え込めば、かなり安心感が生まれます。  
事前に話す内容がきちんと整理されていれば、自ずと心に余裕が生まれ、「言葉のひげ」の出番も減るはずで  
準備を重ねた上で言葉に詰まった時は、メモを参考にしたり、原稿に目をやりながら読んでもよいでしょう。  
話の上手下手にかかわらず、しっかりと準備を整えることは、聞き手に対する話し手側の誠意でもあることを自覚し、真摯な姿勢で望みたいものです。



あなたの家のお掃除隊  
**クリーン彩花**

お問い合わせ・お見積りはお気軽に！



0120-400-225 <http://www.c-saika.jp/>

# AIやロボットではない仕事

## ■AIが歌も映画もつくる

最近、いろんなところでAIの話題がもちきりです。

11月2、3日に日本で初めて、AI技術で制作した作品だけを集めた「AI日本国際映画祭」が行われるそうです。

数日前には友人からイメージなり歌詞フレーズを入力し、「昭和なあたたかい歌をつくって」という指示を出せば歌をつくってくれるSunoという携帯アプリのことを教えてもらいました。

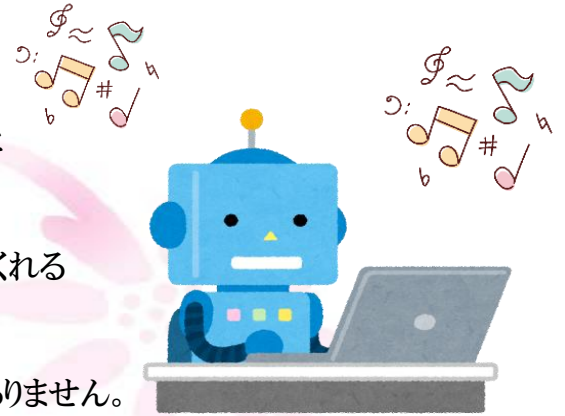
これを使えば社歌やファミリーソングも簡単に作ることができます。

最近では電話をかけるとAIと対応ロボットが出てくる会社も少なくありません。

AI・ロボットによって置き換えられる仕事が増えつつあります。

コンビニなどのレジ係、通販会社のコールセンター業務、配送センターの

ピッキング業務、簿記・会計業務等は既にAI・ロボットなしでは回らなくなりつつあると言われています。かつてプログラマーは理系で花形の仕事でしたが、それすらもAI・ロボット化への切り替えが始まっています。



## ■AI時代のハウスクリーニング

AI技術の発展によって、作業的な領域のみならず、判断、分析、創造という領域までAI化がすすみ、人間と技術の役割分担が問われています。そして「人間でしかできない仕事」という視点が重要性を増しています。そういう視点から「ハウスクリーニングの意義」を考えると、ハウスクリーニングに求められる人間的な要素や価値、現場対応力が浮かび上がってきます。

ハウスクリーニングではお客様ごとに生活背景、価値観が異なり、デリケートな事情(高齢、介護、病気、子育て、ペット、趣味など)を理解したうえで、そのお宅に最適で快適な暮らしサポートを提供していくことが重要になってきます。家の中の汚れやシミ、劣化の具合は一軒一軒ことなり、定型的なものはありません。またクライアントも気づかないような異常(水漏れ、カビ、設備劣化など)は五感と経験で察知し、未然に対応していくことが不可欠です。いずれも現場での瞬時の判断と柔軟な手法の組合せが求められます。

AIやロボットは、特定のルーティン作業やデータによるパターン業務は得意ですが、お客様とのデリケートで臨機応変なやりとりは苦手です。一方でハウスクリーニングは機械的な作業では終わらず、信頼関係があつてことのできる仕事です。プライベートな空間に入り込むサービスだからこそ、コミュニケーションと気配りが決定的な重要性をもっています。



## ■究極のエッセンシャルワーク

「エッセンシャルワーク」という言葉があります。人々が日常生活を送る上で必要不可欠(エッセンシャル)な仕事を指します。コロナウィルス流行を機に広く知られるようになりました。AI・ロボットの時代にあつて、ハウスクリーニングは究極のエッセンシャルワークといつてよいと思います。

ハウスクリーニングがAI・ロボットに代替不可能な価値を発揮し、お客様の感動と感謝を呼ぶのは、清掃やメンテナンスが汚れおとしを超え、清潔感と安堵感のある生活空間をつくりだし、「人間性の回復」のきっかけになるからだと思います。

クリーン彩花のスタッフの皆さんの誠実な仕事ぶり、「この家を綺麗にした」「この方々が心地よく暮らせる場所をつくりたい」という思いや態度はAIやロボットには絶対にできない、エッセンシャルワークの真髄だと思います(らく)

